

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	13	学校名	檀原高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 高齢者・乳幼児との交流 (2) 地域交流事業
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 「家庭基礎」の「子どもの生活と保育」・「高齢期の生活と福祉」についての理解を深めるため、乳幼児・高齢者と交流する機会を持つ。
連携・協働相手	(1) 特別養護老人ホーム桃寿園、檀原市第5こども園、白檀幼稚園 (2) 新沢地区自治会、ぽればれケアセンター白檀、檀原市第5こども園、白檀幼稚園
地域と共有している目標・課題等	異世代間の交流を通して、高齢者の福祉と心豊かな子ども・生徒の育成並びに魅力ある地域づくりを図る。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>(1) 家庭クラブが主体的に立案して歌唱・体操・クイズ等を撮影した。そのDVDを2月末までには送付する予定である。</p> <p>(2) 高齢者・乳幼児等との交流について吹奏楽部が主体的に立案し、演奏等を行った。または、その映像を収めたDVDを鑑賞していただいた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>(1) 乳幼児や高齢者の日々の生活や福祉について思いを巡らせ、楽しい時間を過ごしてもらうために自分たちにできることを考え、行ったことで、「子どもの生活と保育」・「高齢期の生活と福祉」についての理解が深まった。今後は、相互に相手の様子を視聴することでリモート交流を実現し、乳幼児や高齢者に対する理解を一層深めさせたい。</p> <p>(2) 高齢者の福祉と心豊かな子ども・生徒の育成並びに魅力ある地域づくりに貢献できた。今後は、ICTを活用して相互に相手の様子を視聴するリモート交流を実現したい。</p>
--

